

# 令和6年第6回国分寺市農業委員会総会議事録

令和6年6月20日(木)午前9時30分

第6回国分寺市農業委員会総会を国分寺市役所書庫棟会議室に召集する。

出席委員 (15名)	1番 吉野 賢一	2番 関田 和雄	3番 鈴木 孝幸	4番 濱野 周泰
	5番 鈴木 秀男	6番 草ヶ谷 誠一	7番 須崎 忠男	8番 平野 孝行
欠席委員 (0名)	9番 鈴木 弘子	10番 笛田 弥生	11番 川窪 光一	12番 小柳 弘
	13番 中村 秀雄	14番 栗原 啓輔	15番 本多 佳郎	
事務局 出席職員	事務局長 飯塚 達儀 係長 榎本 紘幸 係 有田 元之			

## < 議事日程 >

日程第1 開会と署名委員指名

日程第2 前回会議録の承認

日程第3 会長等の報告

日程第4 議案審議

議案第1号 国分寺都市計画生産緑地地区の追加指定について

議案第2号 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書の交付について

議案第3号 第64回企業的農業経営顕彰事業推薦候補者について

議案第4号 第44回農業後継者顕彰事業推薦候補者について

日程第5 協議事項

協議第1号 農業委員会視察研修について

日程第6 報告事項

報告第1号 農地法第3条の3の規定による届出に係る専決処理について

報告第2号 農地法第4条第1項第7号の規定による届出に係る専決処理について

報告第3号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について

報告第4号 農地の一時転用届について

報告第5号 今後の日程について

日程第7 その他

議長（鈴木秀男）は令和6年第6回国分寺市農業委員会総会の開会を宣言した。

○ 日程第1 開会と署名委員指名

議長は、議事録署名委員について、次の2名を指名した。

10番 笛田 弥生

11番 川窪 光一

○ 日程第2

前回会議録の承認

事務局提示のとおり前回会議録は承認された。

○ 日程第3

会長等の報告

5月20日 北多摩地区農業委員会連合会通常総会（鈴木会長）

5月22日 J A東京むさし国分寺地区資産管理部会第26回定期総会  
（須崎会長職務代理）

5月23日 令和6年度第1回栽培アドバイス会（草ヶ谷委員・中村委員）

5月27日 野菜・果樹定期総会（鈴木会長）

5月29日 全国農業委員会会長大会（鈴木会長）

5月30日 国分寺市農業祭ハウストマト品評会（鈴木会長）

6月18日 東京都農業会議通常総会・事業推進協議会（鈴木会長）

○ 日程第4

議案審議

議案第1号

国分寺都市計画生産緑地地区の追加指定について

議長は、議案第1号1番から3番を議題とすることを告げ、事務局説明後、1番を小柳委員、2番を川窪委員、3番を鈴木孝幸委員に現地調査報告を求めた。

小柳委員

議案第1号1番について、6月7日に鈴木弘子委員、本多委員、私と事務局で現地調査を行った当該農地では、ネギ・ジャガイモが栽培されており、全て適切に肥培管理されていた。

川窪委員

議案第1号2番について、6月7日に吉野委員、関田委員、私と事務局で現地調査を行った。当該農地では、カキが栽培されており、全て適切に肥培管理されていた。

鈴木孝幸委員

議案第1号3番について、6月7日に、私と事務局で現地調査を行った。西側農地ではネギが、東側農地では、ドウダンツツジ・アジサイのほか、ウメ・ブルーベリーが栽培されており、残りの部分は作付け準備中で、今後はブルーベリーを栽培する計画であることを確認しており、全て適切に肥培管理されていた。

議長

本議案について、質問等はあるか。

中村委員

1番について、規定面積の300㎡に達していないが、西側隣接の生産緑地と合わせて300㎡を越えているという理解でいいか。

事務局

前提として、従前まで生産緑地の指定面積は、一団で最低500㎡以上が要件であったが、各市区町村が条例で別途定めた場合には、一団で300㎡以上からという最低下限を設けることができ、本市は300㎡以上から指定可能である。今回の申請では、西側隣接の生産緑地を指しているかどうかは把握していないが、市まちづくり計画課より周辺の生産緑地と合わせて300㎡の面積要件を満たしているとしている。

議長

本議案について審議の結果、各委員の確認することに異議がないので、議案第1号1番～3番について全員一致で承認とする。

**議案第2号** 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書の交付について

議長は、議案第2号1番を議題とすることを告げ、事務局説明後、1番の並木町分を吉野委員、戸倉分を平野委員に現地調査報告を求めた。

吉野委員 議案第2号1番並木町分について、6月7日に川窪委員、関田委員、私と事務局で現地調査を行った。並木町の自宅南側農地では、トマト・キュウリ・タマネギ等の野菜類が、西側の農地ではネギが栽培されており、全て適切に肥培管理されていた。

平野委員 議案第2号1番戸倉分について、6月7日に須崎会長職務代理、笛田委員、私と事務局で現地調査を行った。戸倉の農地では、カボチャ・サツマイモが栽培されており、残りの部分は作付け準備中で、全て適切に肥培管理されていた。

議長 本議案について審議の結果、各委員の確認することに異議がないので、議案第2号1番について全員一致で承認とする。

**議案第3号** 第64回企業的農業経営顕彰事業推薦候補者について

議長は議案第3号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事務局 地区担当委員より推薦があった推薦候補者について、審議していただきたい。

議長 本議案について審議の結果、次の者を推薦候補者に決定することを全員一致で確認した。なお、推薦にあたっては地区担当委員及び事務局で訪問し、推薦受諾依頼をする。

推薦候補者 中村克之氏（内藤地区）

**議案第4号** 第44回農業後継者顕彰事業推薦候補者について

議長は議案第4号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事務局 地区担当委員より推薦があった推薦候補者について、審議していただきたい。

議長 本議案について審議の結果、次の者を推薦候補者に決定することを全員一致で確認した。なお、推薦にあたっては地区担当委員及び事務局で訪問し、推薦受諾依頼をする。

推薦候補者 内藤宏和氏（内藤地区）

推薦候補者 佐藤慎太郎氏（恋ヶ窪地区）

○ 日程第5 協議事項

**協議第1号** 農業委員会視察研修について

議長は協議第1号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事務局 前回総会で意見を募ったが、今年度の農業委員会の視察研修の内容については、主に2点であると認識している。1点目が、農地を保全していくための手法の1つとして、農業者自らが市民農園を開設し、かつ、その市民農園が軌道に乗り農業経営が成功している事例研究と、2点目が、農産物のブランド化に成功している自治体の

事例研究であった。

まず、1点目について、前回総会で、国立市の話題があったが、稲城市と東村山市も特徴があり、農業者開設の市民農園が多いことが分かったため、3自治体を候補として掲載した。

この内「軌道に乗り農業経営が成功している事例」が一番重要な点かと思うが、それは分からなかった。3自治体の事務局に連絡を入れたが、農業者開設型の市民農園であり、定員が埋まっているかどうかは教えてもらったが、それが経営の一助となり、うまくいっているかについては、市民農園開設者でなければ分からないという話だった。前回総会で「現場に行って直接農業者と話さないと実態は分からない」という話もあったが、実際に行く場所を決め、要点を絞り開設者と接触して、回答をもらうことになると思う。

2点目として、3自治体で「ブランド化に成功している事例はないか」という点を併せて聞き取りした。稲城市は、稲城の梨を前面に押し出している。加工品やワインまで作られ、梨組合が力を入れて出荷している。

国立市は、「加工品等のブランド化は各農家が行っており、成功事例として個別農家を紹介しにくい」との話であった。

東村山市については、「多摩湖梨や地元野菜を使用したドレッシングやソース等をブランドとして展開している。以上を参考に、協議願いたい。

議長 日程と視察先について意見を伺いたい。視察先は、この3つから選ぶ形でよいか。

中村委員 前回総会での提案者として、まず、事務局が丁寧に調べていただき大変感謝している。資料を見ても参考になる。会長が述べたとおり、この中で決めて見学したいが、他の委員の意見を是非いただければと思うので、よろしく願いしたい。

議長 国立市は民間開設型が多いということだが、これに関して法人によるものもあるのか。

事務局 民間開設型に含まれるのは、当市でも開設しているアグリメディアであり、民間という記載はあるが、地域の団体が借りてやっているというところが見て取れる。農家自らが開設している所は5か所あるが、資料だけではそれ以上の情報はない。

濱野委員 東村山市では、相続税納税猶予適用農地で市民農園を開設している所が過半数を超えている。一方、国立市と稲城市は1か所となっている。農地の維持・保全という視点で検討すると、納税猶予農地が多くある東村山市が参考になるのではないかと考える。

栗原委員 同意する。農地の将来を見据えた際、東村山市を視察するのは適当である。

議長 既に「生産緑地バンク」を設置しており、その取組も伺えるのもありがたい。今回候補となっている3自治体とも特色があり、非常に興味深い。3か所同時に行けないので、視察先を一つ決定したい。異論がなければ、東村山市を第一候補とする。

草ヶ谷委員 隣接する国立市の市民農園の数に驚いた。各農園の規模や値段設

定等に興味はあるが、個人的な意見であるため、会の総意を尊重する。

議 長

協議の結果、視察先として東村山市を第一候補とするが、受入側の都合もあり、絶対ではない。まずは、事務局の方で打診してもらいたい。日程については、農業委員会総会のある日の午後、具体的には9月20日を第一希望とし、都合が合わない場合はその前後とする。

## ○ 日程第6 報告事項

報告第1号 農地法第3条の3の規定による届出に係る専決処理について  
報告第1号について、事務局より資料を基に2件報告した。

報告第2号 農地法第4条第1項第7号の規定による届出に係る専決処理について  
報告第2号について、事務局より資料を基に2件報告した。

報告第3号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について  
報告第3号について、事務局より資料を基に3件報告した。

報告第4号 農地の一時転用届について  
報告第4号について、事務局より資料を基に1件報告した。

報告第5号 今後の日程について  
報告第5号について、事務局より資料を基に報告した。  
7月1日「農業委員会地区別広域連携会議」に出席する鈴木会長と須崎会長職務代理は、13時に立川市JA東京第1ビルに直接集合とすることを確認した。  
7月6日「国分寺市市民農業大学交流会」に市民農業大学野菜講師である吉野委員と鈴木孝幸委員が出席することを確認した。  
7月24日「農業者年金推進会議」に吉野農業者年金加入推進委員が出席することを確認した。

## ○ 日程第7 その他

- ・ 企業的農業経営顕彰及び後継者顕彰の推薦受託依頼の日程について

議 長

令和6年第7回農業委員会総会は、7月19日(金)午前9時30分  
JAむさし国分寺支店2階ホールにて開催する。

上記の会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年6月20日  
国分寺市農業委員会  
会長 鈴木 秀男

署名委員

署名委員